

出品要項

紅 霧

平成22年度
第24回

会期

10月9日(土)

10月11日(月・祝)

書展

東京書道教育会

平成22年度 第24回『紅霧書展』

展覧要項

【開催方針】

- 一、本書展は、学書の結晶を世に問うことをめざす本会最高位の書展である。
- 一、本書展は、書法において基本を重視した創意ある制作態度を第一に尊ぶ。
- 一、本書展は、本会創立者茂山清太郎先生の雅号を冠し『紅霧書展』と称する。
- 一、本書展は、全国書道師範連盟が協力して開催する。
- 一、本書展は、平成二十二年度は東京で展覧する。
- 一、本書展は、續木湖山・宇賀壽子・渡邊泰山各先生の名を冠した賞を設け、きわめて優れた作品に賞状・賞品を授与し、榮譽を称える。
- 一、本書展は、展覧された全作品を掲載する作品集を刊行する。

【展覧基準】

- 一、書展の本年度の出品部門は、次の六部門とする。
 - 漢字書道第一部門（古典臨書）
 - 漢字書道第二部門（作品制作）
 - かな書道部門（古筆臨書または作品制作）
 - ペン字部門（硬筆であれば用具は問わない）
 - 漢字かな交り部門（毛筆に限定する）
 - 実務書道部門（実務書道作品に限る）

（漢字書道第一部門・漢字書道第二部門への出品は、漢字書道の出品資格を有する各同人が、いずれか一部門をその年毎に選択して出品できることとする。）
- 一、展覧基準では特別部門として、篆刻部門、写経部門を設けることがある。書材はまったく自由である。かな書道部門、ペン字部門においては臨書・自由創作を問わない。但し、書法の基本を逸せず、また自己の創意あふれた作品を歓迎する。
- 一、今年度の会場は次の通りとし、会場の区分は本書展委員会が調整し決定する。

東京・新宿「新宿サンスカイルーム」(旧朝日生命ギャラリー)
- 一、今年度は、審査員格、同人、同人格、準同人の全作品の展示を行う。
- 一、表彰は、審査員格までの作品に対して次の通りを行う。

全作品から極めて優れた作品を選出し、部門別に次の最高賞を授与する。

●漢字書道第一部門	〔續木湖山賞〕	1名	●ペン字部門	〔渡邊泰山賞〕	1名
●漢字書道第二部門	〔續木湖山賞〕	1名	●漢字かな交り部門	〔續木湖山賞〕	1名
●かな書道部門	〔宇賀壽子賞〕	1名	●実務書道部門	〔續木湖山賞〕	1名

全作品から最高賞に準じる作品を選出し、次の賞を授与する。

- 各部門ともに 〔紅霧書展賞〕 数名

同人格および準同人の作品から精励賞として、次の賞を授与する。

- 各部門ともに 〔佳選〕 数名

- 一、上の表彰は、賞状・賞品をもってその榮譽を称える。

平成 22 年度 第 24 回 『紅霧書展』

同人資格基準

- 一、本書展は、本書展開設の主旨に基づき本会において修練研鑽を積んだ師範の優れた作品を展覧することを目的とし、そのための本書展・同人資格基準をここに定める。
- 一、本書展は同人資格として「審査員格」「同人」「同人格」「準同人」を定める。
- 一、それぞれの同人資格は、本会の正師範位（実務書道は二級師範以上）の免許を得たもので
 - ①書芸選抜展などの出品成績状況②師範位および段位の免許状況③書師連活動への貢献業績④書歴⑤指導歴⑥その他によって位置づけられるものとする。
- 一、本書展の資格を得、「書芸選抜展」等に出品し、研鑽していることを要する。
- 一、本書展に出品する場合の部門は、「書芸選抜展」等における実績を中心として決定される。但し、原則としてその出品する分野における正師範位（実務書道は二級師範以上）であることを要する。
- 一、同人資格は次の通りとする。

準 同 人	書芸選抜展	
	●書芸選抜展の同じ部門において「入選」1回以上、かつ、出品される部門の次の規定資格をお持ちの方 〔書道〕〔かな〕〔ペン字〕〔漢字かな交じり〕師範位 〔実務書道〕二級師範位	
同 人	書芸選抜展	紅霧書展
	●同じ部門で「入選」6回以上 ●同じ部門で「入選」1回以上で、ペン字正師範かつ六段位 ●同じ部門で「入選」1回以上で、書道正師範かつ六段位 ●同じ部門で「特選」2回受賞者 ●「書芸賞」受賞者 ●「大賞」受賞者	●準同人のうち「佳選」3回以上受賞者 ●同人格のうち「佳選」2回以上受賞者 ●準同人・同人格のうち「紅霧書展賞」受賞者 ●実務書道一級師範位

次のいずれかの者は「審査員格」に推挙される。

審 査 員 格	●紅霧書展の〔續木湖山賞〕〔宇賀壽子賞〕〔渡邊泰山賞〕のいずれかの受賞者 ●(書道：漢字部門) 総師範 ●紅霧書展において〔紅霧書展賞〕以上を受賞した指導委員・教育委員または通学部講師 ●本会として特に推挙する者 なお、書道展等の第一次、第二次審査委員を審査員格から選出することがある
------------------	---

- 一、本書展の同人資格は、本書展運営委員会の推挙を受けなければ確定しない。
- 一、書芸選抜展等による本書展の同人資格は、開催の前年度の出品成績によって決定されるものとする。なお、「書芸選抜展」において漢字書道部門、またはかな書道部門の〈制作の部〉〈臨書の部〉に同時入選しても、その年度では入選1回とみなされる。
- 一、本年度の段位、師範位による本書展の同人資格は、今年3月20日現在での免許証を基準とする。
- 一、本書展への出品部門は、各人の「書芸選抜展」等の実績を検討し、本書展委員会がこれを指定する。
- 一、本書展のすべての同人資格は、原則として全国書道師範連盟（書師連）に属する師範とする。

平成22年度 第24回 『紅霧書展』

『紅霧書展』は、本会創立者 茂山清太郎先生の雅号を冠した
本会すべての会員が羨望し目標としている、
本会師範による最高位の書展である。

会期・会場

【会期】 2010年10月9日(土)～10月11日(月・祝)
午前10時～午後5時 (最終日は午後3時閉場)

【会場】 東京／新宿センタービル51階 新宿サンスカイルーム (旧朝日生命ギャラリー)
※本会指導者による愚山会展を併設します。

出品要項

【部門】 漢字書道第一部門・漢字書道第二部門・かな書道部門
ペン字部門・漢字かな交じり部門・実務書道部門

【出品】 出品資格を持つ部門において1点とします。
但し漢字部門は、第一(古典臨書)か第二(作品制作)の一方を選択。
同封の「紅霧書展 出品申込書」にて5月14日(金)消印有効までにお申し込みください。

【作品指導】 ご希望の方には6月10日(木)必着まで、通信での添削指導を行います。
同封の「出品作品添削券」で作品をお送りください。

【作品提出】 7月1日(木)～7月20日(火)必着

【作品詳細】 ①最大で全紙(135×70cm)まで。但し、準同人は最大で半折(135×35cm)まで。
②規定寸法以内であれば、短冊・豆色紙等の連作を一つに収めてもよい。
③卷子本・画帖・日記仕様などの形式も出品可。

【作品サイズと出品料】

部 門	サイズ	審査員格 出品料	同人・同人格・準同人 出品料
①漢字書道部門 第一部門	半折以上～全紙以内	30,500	45,800
②漢字書道部門 第二部門	半折 1/2 ～半折未満	25,400	32,600
③かな書道部門	上記未満の小品	—	18,300
④漢字かな交じり部門	卷子・折帖 市販の巻紙／折帖 (たて 30cm× よこ 100cm 以内)。	25,400	32,600
⑤ペン字部門	B 2判以上B 1判まで	30,500	45,800
	B 3判以上B 2判未満	25,400	32,600
	上記未満の小品	—	18,300
⑥実務書道部門 ※内容はすべて自由。 ※作品を添付する A3用紙は、 白以外の厚手のもの。	①あて名書き 市販の角封筒／ハガキを A3用紙に貼る。 角封筒・ハガキ組み合わせ、枚数自由。	18,300	18,300
	②表書き 市販ののし袋各種を A3用紙に貼る。 枚数自由。組合せ自由。		
	③提示文 A3用紙		
	④巻紙・折帖 市販の巻紙／折帖 (たて 30cm× よこ 100cm 以内)。 写経・かな・漢詩などの書道作品不可。	70cm 以上 25,400	70cm 以上 32,600
	⑤賞状 A3賞状用紙。 賞状練習用紙不可。	70cm 未満 18,300	70cm 未満 18,300
	⑥花付き リボン 市販のリボンを A3用紙に貼る。 個数・レイアウト自由。	18,300	18,300
	⑦席札 席札を A3用紙に貼る。 枚数・形式・種類自由。		
	⑧表札 木製の表札（厚さ 3cm 以下）を A3用紙に貼る。枚数・形式自由。		
⑨自由制作 大きさは A3。①～⑧以外の内容での制作。 ①～⑧の組み合わせ可。ただし本展の実務書道 作品として相応しいこと。			

※上記出品料に含まれるものは、審査料、掲出料、通信添削料、
作品集代となります。

※出品料の他に、別途表装代(P7)がかかります。

※作品の返送は着払いとなります。



【紅霧書展までのスケジュール】

5月	6月	7月	8月	9月	10月
②<添削期日>	10日	1日～20日			9日(土)～11日(月)(祝)
① 出品申込締切 5月14日消印有効	③ 出品書類の発送 錬成会	④ 作品受付期間 一斉審査	⑤ 結果通知		書展会期

- ①5月14日(金)消印有効までに、同封の「紅霧書展 出品申込書」で、出品の登録を紅霧書展運営事務局へお済ませください。
- ②6月10日(木)の通信添削期間に最多2回まで先生にお作品を見ていただけます。
通信事務費用として960円分の切手、もしくは筆心月例コンクールチケット16枚を同封の上、同封の「出品作品添削券」で作品をお送りください。
- ③5月下旬より出品のご連絡を頂いた方に、出品券など出品に必要な書類をお送りします。
- ④7月1日(木)～7月20日(火)の期間に作品を本部までご提出ください。〈7月20日(火)は必着です〉
- ⑤8月中旬以降に結果通知をご自宅へお送りいたします。
あとは紅霧書展を待つばかりです。

「紅霧書展」出品作品通信添削について

6月10日(木)までの通信添削期間に

最多2回まで先生に作品を見ていただけます。

通信事務費用として960円分の切手、
もしくは筆心月例コンクールチケット16枚を同封の上、
通信添削券にご記入の上作品をお送りください。

※通信添削券は同封しております。ご確認ください。

ご注意!

- ①1作品に必ず1枚、通信添削券を添付してください。
- ②1作品に1回分の通信事務費用が掛かります。
- ③複数部門の通信添削の場合は作品数分の通信添削券と通信事務費用をお納めください。
- ④臨書作品には法帖のコピーを添付してください。
- ⑤1回でお送りいただける作品数は1部門1作品までを原則とします。
- ⑥返信には約10日～2週間かかります。締切り前は混み合います。お早めのお申込みを!!

【表装代一覧表】

	作品寸法 (cm) *は縦長に限ります		軸 装		額 装	
			緞子 (化繊)	正 絹	買 額	貸 額
書 道 部 門	半紙	*34×24	6,500	11,430	15,200	
	半切 1/4	*68×18			24,400	
	半切 1/3	*45×35	14,800	26,000	22,400	11,200
	半切 1/2	*68×35			24,400	13,200
	半切	*135×35			29,500	15,200
	連落	*135×53	26,400	46,800	40,700	19,300
	全紙 1/3	45×70			24,400	13,200
	全紙 1/2	68×70			29,500	15,200
	全紙	*135×70			40,700	19,300
	卷子	3m 以内	31,600 (3m を超える場合、1m ごとに 5,000 円割増)			

■裂地(表装の布地)について

どんす
緞子(化繊)

長年の豊富な経験と研究に基づき開発された洛彩緞子は綿糸を縦糸、人絹糸を横糸で織り上げられた正絹につぐ表装用最高級裂地です。厳選された優雅な柄ゆきと、伝統に育まれた上品な古代色が作品と絶妙な調和をかもし出します。

しょうけん
正絹

正絹二丁本緞子はまゆから紡がれた一番糸を贅沢に使用し織り上げられた最高級の表装用緞子です。光線と見る角度で玉虫色に輝く織物は本物のみが持ち得る品格と重厚感を漂わせ、しなやかで滑らかな手触りは正絹ならではの風合いを醸し出しています。

	作品寸法 (cm)		買 額	貸 額	額 装
ペ ン 字 部 門	B5	26×18	9,100		アルミ額
	B4・半壊紙	36×26	10,700		
	B3	52×36	23,400	13,200	
	B2	73×52	23,400	15,200	
	B1	103×73	40,700	19,300	毛筆全紙額

	実務書道	作品寸法 (cm)	一般額	上質額
実 務 書 道 部 門	A3 横	42×29.7	9,100	17,300
	花リボン・表札 A3 サイズ	42×29.7		17,300
	巻紙・折帖	35×100 まで	表装：23,000	

■実務書道の額について

一般額

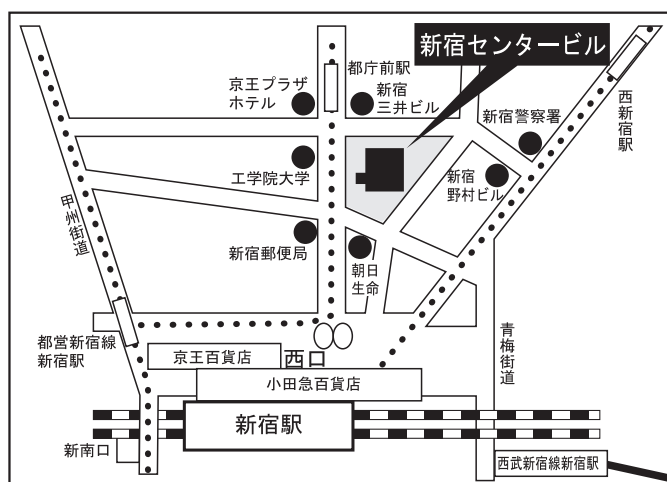
木製。紺色のマット地に作品と書道展名・賞名・氏名を刻印したプレート貼り込みます。額の厚みは 1.5cm 程度。

上質額

木製。オフホワイト色のマットを使用して立体感を持たせます。一般額同様のプレート貼り込み額の厚さは 2.3 ~ 2.5cm。ただしリボン・表札の場合は額の厚さが増す場合もあります。

■会 場

東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 51 階
新宿サンスカイルーム (旧朝日生命ギャラリー)



【交通機関】

- JR線・小田急線・京王線・西武新宿線・都営新宿線「新宿駅」より徒歩5分
- 地下鉄丸の内線「新宿駅」より徒歩5分
「西新宿駅」より徒歩2分
- 地下鉄大江戸線「都庁前駅」より徒歩2分

東京書道教育会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-2-12
電話：03-5770-6811 FAX：03-5770-6816
<http://www.syodou.net>

ご不明な点は『紅霧書展』運営事務局までお問い合わせください